



今月のトピック

🌿 最優秀に平野みのりさん（伊南村） ～南会津フレッシュ野菜コンテスト～

南会津フレッシュ野菜料理コンテスト（同実行委員会主催）の二次審査会は9月25日、下郷町の下郷ふれあいセンターで開かれ、一次審査を通過した10名の中から最優秀賞に平野みのりさん（伊南村）の「アスパラガスのピリ辛春巻き」が選ばれました。

野菜料理コンテストは、南会津特産の野菜を県内外に広めようと初めて企画・開催され、アスパラガス、ニラ、トマトの三部門に県内各地からアイデアに富んだ作品、81点もの応募がありました。

優秀賞には、五十嵐由江さん（南郷村）の「エスニックカレー」と鈴木光代さん（会津若松市）の「トマトグラタン」が選ばれました。

今回、応募された素晴らしい作品は、貴重な資料として一冊のレシピ集にまとめられ、関係機関などに配付される予定です。（農業普及部）



アイデアに富んだ野菜料理を作る参加者

🌿 グリーン・ツーリズムインストラクター、話し方を学ぶ

9月19日、田島町の田島建設会館で「南会津地方グリーン・ツーリズムインストラクター養成研修会」（基礎コース第2回）を開催し、29名が受講しました。

今回の養成研修会では、体験内容の重要性を正確にわかりやすく伝えるポイントなどを勉強するために、（財）農林漁業体験協会から花垣紀之先生をお招きし、「インストラクターの話し方」と題して、話し方の基礎、話し方のポイントアップ、伝え方の技術などの内容で講演をしていただきました。

講演は、「相手に伝わらなければ意味がない。ボディランゲージが重要で、ゆっくりと話すこと」、「クレームをつけられたら相手の話がすべて終えてか

ら説明すること」など、いろいろな手法や事例を交えながらわかりやすく説明され、体験指導時のみならず日常でもすぐに実践できる内容でした。

次回の研修は、11月14日に「安全対策と基礎的な応急方法」というテーマで行う予定ですので、インストラクターだけでなくケガなどの緊急処置などに興味のある方は是非参加してください。

（地域農林企画室）



話し方のテクニックを勉強しました

🌿 「木工作业コンクール」開催される！

県木材青壮年協会田島支部（加藤雅之支部長）主催の「チビッコ木工工作コンクール」が9月20日に行われ、南会津農林事務所長賞には田島小4年の星葵さんの「賞状入れ」が選ばれました。コンクールは子供達に木の良さを知ってもらう目的で毎年開かれており、小学生が夏休みに仕上げた力作124点が出品されました。作品は9月25日まで田島町の会津田島ふれあいステーションプラザにおいて展示されました。

なお、所長賞をはじめとする入賞作12点は県コンクールに出展され、11月17～19日に郡山市でおこなわれる木材フェア（ビックパレットふくしま）で展示される予定です。（森林林業部）



力作がそろいました

“会津地鶏”金メダルを獲得！

～会津地鶏味おこしオリンピック2000開催される～

シドニーオリンピックの話題でみなさんも盛り上がっていることと思いますが、去る9月27日、会津若松市鶴ヶ城会館において、会津地鶏のオリンピックこと「会津地鶏味おこしオリンピック2000」が開催されました。

このオリンピックは、会津地鶏の消費拡大を通じて、会津地鶏の生産振興と会津の味おこしを推進し、もって会津・南会津地域の活性化を図ることを目的としたもので、会津及び南会津に在住している人から料理のレシピを募集し、書類審査により7品のメニューを選び、その7品のメニューを応募者の方自らに調理してもらい、その料理について求評を行うというものです。

今回のオリンピックには46品のエントリーがありました。厳しい予選を経て、決勝に進出した7品のメニューはいずれもすばらしいもので、オリンピック会場に來られた方々から料理に関する賞賛の声が数多く聞かれ、閉会の時には「みんなで会津地鶏を盛り上げて行こう！」という空気に会場全体が包まれました。

最後になりますが、これを契機にして会津地鶏が全国の地鶏オリンピックで金メダルを取ることを目標に生産振興等を図って行きたいと思います。

(農業振興部)



地鶏のおいしさを更に引き出した7品の料理

豪雨の中、観光懇談会で南会津をPR

去る9月12・13日の両日、福島県と(社)福島県観光連盟主催の観光懇談会が名古屋市と大阪市でそれぞれ開かれました。福島県の豊かな観光資源を両地区の旅行エージェントとマスコミ関係者に広く知ってもらおうと企画されたもので、福島空港利用率アップも狙っています。

名古屋会場は折からの集中豪雨災害と重なり、出席者は予定の3分の1にとどまりましたが、福島県の観光事情、特に南会津地方で取り組んでいるグリーン・ツーリズムについては旅行エージェントと濃密的な個別懇談ができました。ここでは今年2月に作成した「南会津グリーン・ツーリズムガイドブック」がおおいに役立ったことは申し上げるまでもありませんが、今後の成果が期待されます。名古屋会場、大阪会場と

も南会津に関しては尾瀬と檜枝岐村が知られているものの、旅行エージェントの持っている情報量の少なさには少々落胆しましたが、食い込める要素はありました。絶えず旅行エージェントに情報発信することが集客のポイントのようです。

(地域農林企画室)



南会津のグリーン・ツーリズムをPR

現地交流研修(就業促進事業・フレッシュ農業ガイド)を開催しました

9月18日、田島高校農林科1年生を対象に現地交流研修が開催されました。これは、林業及び農業の後継者育成の一環として行われたもので、林業関係では「郡山地区木工団地プレカット工場」と第24回全国育樹祭の行事である「全国林業機械化展示実演会」を見学し、林業の先端技術について学びました。また、農業関係では管内で奨励されている花きの生産状況について、「下郷町の lindou (小山氏の試験ほ場)」「田島町のシュコンカスミソウ(大竹氏)」を見学し、生産者の説明に熱心に耳を傾けていました。

この現地研修は、南会津農林業担い手育成連絡協議会の12年度事業としても位置づけられています。

(森林林業部・農業普及部)



郡山地区木工団地プレカット工場

特集!

南会津農林事務所ホームページを開設

— 管内の農林業情報など、全国へ発信! —

現在、インターネットでは世界中の様々な情報を載せたたくさんのホームページが公開されています。

ホームページの特徴は、文字(文章)はもちろん、イラストや写真、音声、ビデオ映像などの情報をインターネットで手軽に(安く)伝えることができるところにあります。

最近では、新聞を読んだり、テレビを見たりするのと同じようにホームページを利用している人が多くなって、更に増加する傾向にあります。これにともなって、各自治体では地域の紹介、会社では自社商品のPR、個人では家族や趣味の紹介、農業関連では農産物の産直などでホームページが利用されています。

特に、ホームページが地域の紹介や商品の販売に向いている点は、インターネットでその情報を素早く検索する(見る)ことができることから、より受け手の焦点を絞った効果的なPRが可能となるところで、今後ますます発展し利用しやすくなると考えられます。

当事務所でも、このようなインターネットの様々な利点を活用するため、9月19日にホームページを開設しました。当面は、南会津農林事務所の事業や南会津農林業の概要、主要特産物、グリーン・ツーリズム、のうりんニュースなどの紹介でまだ完全なものとはいえませんが、全国に南会津の農林業を紹介する一助となればと考えています。

是非、機会があれば当事務所のホームページ(アドレス <http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/>)を覗いて見て、ご意見やご感想をお寄せください。また、ホームページに載せる地域をPRするための様々な情報も募集しています。

(地域農林企画室)

福島県南会津農林事務所

自然いっぱい、南会津!

南会津農林事務所

ホームページへようこそ

当事務所では、農林業・農山村振興の地方拠点として「地域担い手の育成確保」「生産基盤の整備と産地の育成」「中山間地域の活性化と生活基盤の整備」「グリーン・ツーリズムの推進」の4本の柱を掲げ、それを効率的・確実に実施するとともに、一体的な情報の提供や総合的な立場での支援・指導を積極的に行っています。

「南会津農林事務所ホームページ」の最初のページ



～研修会・講習会等お知らせ～

内 容	月 日	場 所
①農産加工研修 : 「漬物基礎」	11月 9日(木)	農業短期大学校
②農産加工研修 : 「漬物応用」	11月10日(金)	農業短期大学校
③農業機械研修 : 「アーク溶接基本」	11月21日(火) ～22日(水)	農業短期大学校

※お申込み・お問合せ先: 南会津農林事務所 TEL0241-62-5866
南会津地域農業改良普及センター TEL0241-62-5262

臭気環境とかおり環境

今年の6月28日に、臭気に対する住民意識の変化に対応するため、新しい考え方として「におい環境」という概念が導入され、その指針づくりがなされてきた。環境庁が策定した「快適なにおい環境づくりに向けて一におい環境指針策定の考え方」には目標値の設定と担うべき役割について次のように示された。

- (1)におい環境指針では目指す目標として「臭気環境目標」と「かおり環境目標」を設定。
- (2)「臭気環境目標」は、不快なにおいの低減と臭気に関する望ましい環境の維持・達成を目標とする。
- (3)「かおり環境目標」は、快適な環境の実現を目標とし、その実現のための「かおり環境普及推進マニュアル」を作成。
- (4)国、地方公共団体、事業者及び国民の各主体が担うべき役割等について提示。

この背景には、私たちの生活環境が様々なにおいにさらされるようになってきていることを受けて実施された環境モニターアンケートの調査結果において、「不快なにおい(悪臭)」と同様に「心地よいにおい(香り)」に対する関心も高いことが判明したことがあり、また、におい環境保全においては、生活に身近な悪臭問題の改善と幅広い視野に立った香りの保全・創造との両面から取り組みを進めていくことが重要な課題であることの認識が深まってきた経緯があったようです。

特に、かおりに対する感覚は地域によって、あるいは人によって様々であり、地域住民の感性で評価し、保全し、創造していくという視点が必要となることから、地域が主体となった、かおり環境づくりが展開できるような「かおり環境普及推進マニュアル」が作成された。

農村地域における臭気・かおり環境目標としても「心地よいかおりを感じる事ができる快適な環境の実現」にむけて、畜産糞尿など事業活動に伴って発生する悪臭や農村の下水道など生活系に起因する臭気を解消するシステムを速やかに構築して、自然や地域の文化・歴史等にかかわる心地よいかおりが漂い、快適さを感じる事が出来る農村環境の実現を目指すことが望まれております。

主に、農村地域の悪臭の発生原因は有機物の分解過程によるものであるといわれているが、前述の生活系による悪臭は農村下水道の「汚泥改質機構」と呼ばれる技術が確立したことにより、ほぼ解消されてきています。

事業系の畜産糞尿による悪臭についても、これらの新技術等を活用して有機資源の物質循環を円滑にし、地域の課題として是非解決していきたいものです。

農村整備部長 坂本 宏

ふるさとを顧みて

雪、そして、花一杯の田島を夢見て

東京都板橋区 飯泉 和子さん
(田島町西町出身)

1月「雪があるよ」の一言で大喜びの腕白坊主を連れて冬の田島に里帰りました。

初めて見る雪景色に大歓声、雪合戦、だるま作りと大騒ぎの孫達は無邪気で屈託がありません。しかし田島に住む弟夫婦にとっては、雪は頭痛の種、「雪はよっぱら」という妹の言葉は雪国の厳しさを匂わしていました。

雪といえば12才の冬、祖父の葬儀に駒止峠を徒歩で伊南村に行ったことが思い出されます。郵便馬車で針生まで、いよいよ峠越えです。道などなく、ただ頂上へ向かって父の後から純白な斜面をジグザグに、這うようにすべったり転んだり夢中で歩いた雪の山道。ようやく辿り付いた山小屋のいろりの火の暖かかったこと、目にしみた煙と熱いお茶と、凍ったなめこの漬物のおいしかったこと、今でもあの味は忘れられません。

あれから数十年、駒止峠には隧道(トンネル)が作られ、山は美しい自然林と湿原を見せてくれます。5月には水芭蕉に逢いに駒止湿原を散策しました。

冬の寒さと深い森が南会津の春を、夏を、秋を美しく染め上げるのですね。ふる里の緑はいつまでも豊かであって欲しいと思います。

そして私の願い。いつの日か四季折々の美しい草花が街道を飾ってくれればと思います。遠い昔、参勤交代で賑わった道、今に脈々と続き、未来へ繋ぐ山の緑と花の街道、花の町田島が目に見えかけて来ます。

ドイツのロマンチック街道も、フランスの片田舎の町も旅人に優しい花街道でした。



問い合わせ

あて先 〒967-0004
福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1
南会津農林事務所 地域農林企画室
TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5349
E-mail m-nourin@akina.ne.jp

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

タイトル横の写真

古町の大イチョウ(伊南村)
樹齢800年、県の天然記念物



古紙配合率50%再生紙を使用しています

福島県南会津農林事務所
古紙配合率50%再生紙と
SOY(大豆油)インキを

